

△産業宣教 産業人の始まり(創 12:1-3)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ⑦ - 生活(創 2:18)	△核心 やぐら、旅程、道しるべ - 神様のやぐら(創 1:27)	△散らされた弟子たち 旧約時代の道しるべ ⑤ - ドタンの町運動(二列 6:8-23)
<p>□序論_先に見るべきこと</p> <p>1. 教会 - 御座(一つのからだ) 1つ目は教会だ。教会は御座の祝福を味わうやぐらであり、停留場だ。それだけ分かれば、多くの答えを受けるようになる。パウロは恵みを受けて、一つのからだだと言った。これを理解できなければ、すべての働きには障害物になって、全世界のわざわいを止めることができない。教役者も注意しなければならない。教会は、神様の民が来て礼拝する所だ。私が救われた神の子どもであれば、救われた神の子どもがとても大切だ。</p> <p>2. 産業を理解しなければならない。神様は宣教のための光の経済を備えておられる。</p> <p>3. 神様は世界福音化のために伝道する人々の支援者、同僚者、家主の祝福を準備しておられる。</p> <p>□本論_始まり</p> <p>1. 地(7大旅程) 「わたしがあなたに示す地へ行きなさい」 神様の旅程に行くこと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 離れなさい(わざわい)滅びる過去、土地、親戚、父の家を出なさい、わざわいから離れなさい。</li> <li>2) 示す地へ、みことばに従って行きなさいということ</li> <li>3) 大いなる国民になり、根源になるべきだ(宣教) 教会にくれば神様の計画だけを見なさい。宣教の祝福で呼ばれた</li> </ol> <p>2. 「あなたによって」これが私たちが話す7大道しるべだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 世界福音化の祝福を言う。</li> <li>2) アブラハムに与えられた世界福音化の約束がヨセフのときに完全に成就</li> <li>3) モーセのとき世界福音化</li> </ol> <p>△皆さんが受けた祝福、価値を逃してはならない。本人の価値を分かるべき</p> <p>3. アブラハムが悟って祭壇を築いた。このとき、5つの祝福を受けた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 変わらない。契約的祝福だ。</li> <li>2) 根源的な祝福を受けてこそ、世界福音化する。神様はこの祝福を受けるように備えておられる。</li> <li>3) 「あなたによって」代表的祝福</li> <li>4) 「地のすべての部族は」子孫を通して起こった。記念碑的な祝福</li> <li>5) 不可抗力的祝福「あなたに立ちはだかる者はいない」</li> </ol> <p>△重要な時刻表が来年には起こるだろう。来年には RUTC の答え 24 を超えて永遠だ。25 を超えて永遠。</p> <p>□結論 大きな器準備(小さな器)</p> <p>救われていない力ある者は、世界福音化できない。神様のことを持ちなさい。世界福音化の大きな器を準備しなさい。神様が備えられた大きな器を準備しなさい。</p> <p>今日、メッセージ聞いているすべての国で、すべての重職者とすべての産業人は祈り始めれば良い。いまは神様が与えられた永遠の祝福を見つける必要がある。</p>	<p>△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ⑦ - 生活(創 2:18)</p> <p>祈りやぐらを生活の中で作りなさい。レムナントのときに刻印されたことが、後に答えとして来る。</p> <p>□序論_祈りシステム</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 礼拝だけよくさげても、祈りシステムが作られる始まりだ。</li> <li>2. サミットタイムを持っても、人生を左右する。</li> <li>3. 金土日時代を作て集中して、定刻で一人ですることを必ず作りなさい。</li> </ol> <p>□本論_なぜ神様の祝福を受けるべきなのか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本来の祝福 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 1:1-13 神様がみことばで天地創造</li> <li>2) 創 1:27 私たちの中に神のかたちを植えられた</li> <li>3) 創 2:7 たましいの中に神様のいのちの息を。</li> </ol> <p>これが祈りの奥義、吸う息と吐く息の奥義、集中の奥義、多くの力を味わう奥義だ。</p> </li> <li>2. 失った祝福 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 3:4-5 私-サタンにだまされて奪われた。</li> <li>2) 創 6:4-5 私の利益-私たちをだまして神様の祝福を受けられないようにする</li> <li>3) 創 11:1-8</li> </ol> <p>△今も継続して、永遠にある。</p> </li> <li>3. 回復の祝福 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つようする。</li> <li>2) 創 6:14 箱舟の中に入って来れば生きる</li> <li>3) 創 12:1-3 滅亡の現場を離れて、わたしが示す地へ、あなたは祝福の根源、あなたによって地のすべての部族が祝福され、あなたに立ちはだかる者はない」</li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24 -どこにいても大丈夫。</li> <li>2. 25 -競争する必要なく答えが先に</li> <li>3. 永遠-世界を動かす作品が出て来る</li> </ol> <p>△神様の7やぐらと7旅程、7道しるべが私の中に、私のたましいの中に、生活中に臨むようにして、私の生活中に出て来るようになれば良い。</p> </li></ol>	<p>△核心 やぐら、旅程、道しるべ - 神様のやぐら(創 1:27)</p> <p>私たちは見張り人なので、神様がくださったやぐらを建てる祈りが進行している。私たちは巡礼者なので、神様の旅程と神様が造られた道しるべに従つて行く。これを神様のやぐらと言う。この神様のやぐらが私の中に、私のいのちの中に建てられる必要がある。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 237-5000 を生かそうとするなら <ol style="list-style-type: none"> <li>1) やぐら-三位一体の神様と御座の力(使 1:8 祈り)</li> <li>2) 旅程-だれも皆さんに勝つことはできない奥義</li> <li>3) 道しるべ-カルバリの丘、オーリープ山、マルコの屋上の部屋</li> </ol> </li> <li>2. 世の中の方法-わざわいを呼ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 強大国-征服 2) 弱小国-奴隸、しもべの役割</li> <li>3) イスラエル-お使い(小さな器)-選民</li> </ol> </li> </ol> <p>△私を生かそうとするなら、私から抜け出す必要がある。教会は、レムナントを呼んで靈的なことを分からせて、わざわいを止めて人を生かす方法を教える必要がある。それが福音だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. いのちと平和をもたらす神様の方法 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 12:1-3 わたしが示す地に行きなさい。地のすべての部族、あなたによって祝福される。</li> <li>2) マタ 28:16-20 あらゆる国の人々-弟子</li> <li>3) マコ 16:15-20、使 1:8 万民-癒やし、地の果て-証人</li> </ol> </li> </ol> <p>□本論_どのように</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三位一体の神様の靈が私の中に <ol style="list-style-type: none"> <li>1) みことばで働かれる神様</li> <li>2) 救いの働きを成し遂げられたイエス・キリスト</li> <li>3) 力で働かれる聖霊</li> </ol> </li> <li>2. 神様のやぐらが私の中に <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 1:27 私のいのちの中に 2) 創 2:7 私のたましいの中に</li> <li>3) 創 2:18 私の生活中に</li> </ol> </li> <li>3. 福音のやぐらができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 創 3:4-5 → 創 3:15 サタンにだまされて滅びたとき、キリストを約束して解決</li> <li>2) 創 6:4-5 → 創 6:14 ネフィリムになって抜け出せないと、箱舟の中に入って来なさい。</li> <li>3) 創 11:1-8 → 創 12:1-3 滅びるバベルの塔から出なさい。</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_靈的伝染病が広がるので光を放つ見張り台、来て癒やされるプラットフォーム、神様と疎通が起こるアンテナがあるやぐら持っている見張り人が必要</p> <p>私たちは単に伝道すべきなのではない。あちこちに見張り台を建てて光を照らすのだ。これを知ったダビデは、一人でやぐらを千個作った。そうしておいて、神殿を準備した。</p>	<p>△散らされた弟子たち 旧約時代の道しるべ ⑤ - ドタンの町運動(二列 6:8-23)</p> <p>□序論_無条件に熱心にせずに絶対やぐらを建てなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝道 2. 職業</li> <li>3. 現場の絶対やぐら 使 13:1-4、16:6-10、19:1-7 常にこれは絶対やぐら建てる</li> </ol> <p>□本論_絶対やぐらを建てようとすれば絶対条件がある。 (このときのためにこれを、このときのために私を)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オバデヤ運動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) アハブ王の家臣ということは(能力があるということ)</li> <li>2) エリヤの弟子ということは(信仰があるということ)</li> <li>3) オバデヤではなければならないと、預言者 100 人を隠した</li> </ol> </li> <li>2. ホレブの山運動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エニシダの木の陰に倒れて落胆した告白をしたエリヤに「このときのためにあなたを呼んだ。ホレブの山に行きなさい」</li> <li>2) ホレブの山に行って、かすかな細い声で神様の御声を聞いた。</li> <li>3) 「エリシャを選択しない」</li> </ol> </li> <li>3. ドタンの町運動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 二列 2:9-11 だれもがすることを求めたのではない。今、危機を止め力、それを与えてくださいと言った。</li> <li>2) 二列 6:8-23 エリシャはドタンの町運動を行う。</li> <li>3) 戦わずに勝利</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_結局は、絶対答えが来る。神様が願われること。神様が備えられたこと。</p>

△区域メッセージ（第 50 週） 真の礼拝と 25 の答え（ヨハ 4:21-24）	△聖日 1 部礼拝 神のみこころを成し遂げる者（I テサ 5:16-24）	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 契約の隊列の中にいる者（使 1:1-8）
<p>□序論_理由</p> <p>1. 礼拝ひとつで、すべてを解決できるまことの礼拝を回復する必要がある。しかし、今は病気時代だ。</p> <p>2. わざわい時代-わざわいが来て、多くの人が混乱を経験するようになる</p> <p>3. 礼拝失敗時代-まことの礼拝を逃すと、心は他のところに行っている。</p> <p>4. サタンの 12 の戦略-すべての人間を落とし穴、枠、わなに閉じ込めて、運命自体が呪い</p> <p>5. 滅亡時代が来る。</p> <p>□本論</p> <p>1. まことの礼拝と祈り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 創 1:3 創造の光が臨むように</li> <li>2) 創 1:27 私たちのたましいの中に神のかたちが臨むように</li> <li>3) 創 2:7 いのちの息の働きが起こるよう</li> <li>4) 三位一体の神様がともにおられると、どんな働きが起こるのか</li> <li>5) 御座の祝福 9 つが臨む。</li> <li>6) 三つの祭り-救いの祝福過越祭、聖靈が私たちとともに、導き、働く五旬節、神の子どもとして御座の背景を持っている。</li> </ul> <p>2. 以前-準備</p> <p>1) 礼拝の前</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) みことばの背景、記録目的、何の内容なのかよく知るべき</li> <li>(2) みことばの中で私が答えを見つけるように</li> <li>(3) 6 日間黙想して、みことばが成就する所に私が証人として用いられる。</li> </ul> <p>2) 礼拝堂 (1) 出 26:1-37 幕屋に集まりなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(2) I 歴 29:10-14 神殿がなぜ必要なのか。神様にささげる礼拝だから。</li> <li>(3) ヨハ 2:12-25 「わたしの家は祈りの家と呼ばれる」これが礼拝堂で、幕屋で、神殿で。</li> </ul> <p>3) ヨハ 4:24 礼拝をさされば、重要な内容と方法は聖靈の臨在と真理の契約のみことば</p> <p>4) 価値-礼拝をささげるとき、神様が私たちに与えられる答えを見つけるべき</p> <p>3. 成功</p> <p>1) 使 2:1-47 力-時刻表、門-五つの力、時刻表、門が見えるようになる。</p> <p>2) できごと、人(葛藤、問題)-多くの人が仕事と人に葛藤と問題が生じるが、ここに神様が働かれるようになる。それゆえ、重要な選択は礼拝の時にしなさい。</p> <p>3) ロマ 16 章-人生-ローマ 16 章の人々のように、教会を堅く建て、伝道者を助け、ともに働く、人生自体が記念碑的な人生、神様に栄光を帰す伝道者の人生を生きるのだ。</p> <p>□結論_御座の祝福</p> <p>1. 天命、召命、使命-人生を与えられた理由、私たちを呼ばれた理由、私たちを派遣された理由を分かる。</p> <p>2. 24, 25、永遠-これを 24 すれば、25 の答えと永遠の作品を残す答えが与えられる。</p> <p>3. ただ、唯一性、再創造-ただの働き、唯一性の答え、再創造の働きが起こる。</p>	<p>△聖日 1 部礼拝 神のみこころを成し遂げる者（I テサ 5:16-24）</p> <p>□序論</p> <p>1. 精的無知-靈的世界、靈的事実、靈的知識を知らないこと</p> <p>2. 唯一の人間の問題と答え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 本来の人間-神様とともにいる身分、征服して治める権威</li> <li>2) 精的問題(創 3 章の事件)-サタンにだまされて罪の中で陥って、呪い、わざわい、地獄の刑罰の中に生きるようになったこと。人間を滅亡へ押し進めるサタンの 12 の問題</li> <li>3) キリスト-神様に会う道、罪と呪い、わざわいから解放、サタンの勢力を打ちこわされて、すべての問題解決、本来の祝福回復</li> <li>4) 根本癒やし(神様の恵み必要)、刻印、根、体質の癒やし(靈的力必要)</li> <li>5) 私たちを時代を生かす見張り人(靈的サミット)として立てられる。</li> </ul> <p>3. 見張り人に必要なことはやぐら-祈りで建てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) プラットフォーム-答えを持っていれば答えを求める人々が来るようになる。</li> <li>2) 見張り台-光といのちのキリストを伝えて癒やして生かすこと</li> <li>3) アンテナ-神様、世の中、人と疎通</li> </ul> <p>□本論_神様のみこころ(18 節)-私が建てるやぐら</p> <p>1. 237 を生かす人々が常にすべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) いつも喜んでいなさい(16 節) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 喜びの根源はただキリスト</li> <li>(2) インマヌエルと御座の背景の中で受ける喜び</li> <li>(3) 契約を握って祈って成り立つ喜び</li> </ul> </li> <li>2) 絶えず祈りなさい(17 節) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 祈りのシステム構築</li> <li>(2) 講壇のみことばと 7 やぐら・7 旅程・7 道しるべの祈り</li> <li>(3) 祈りを邪魔する暗闇のやぐら(人間中心主義、私の考え方、私の方法)崩れるべき</li> </ul> </li> <li>3) すべてのことについて感謝しなさい(18 節) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) すべてのことに感謝できる靈的力が必要</li> <li>(2) 精的に癒やされるほど出てくる実が感謝</li> <li>(3) 感謝の靈的原理-すればするほど、さらに豊かになる。感謝は、人間関係を癒やす。</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 時代と私たちの教会に対する神様のみこころ-237 か国、5 千種族福音化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 長老-1 千やぐらと三つの庭がある神殿準備</li> <li>2) 振手執事、青年-金土日時代の主役 3) 勤士-現場伝道運動の主役</li> <li>3. 神様のみこころを成し遂げる者が逃してはならないこと(19-22 節) <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ただ聖靈の満たし 2) ただみことばの満たし-契約を握ってみことばの流れに乗って行きなさい。</li> <li>3) ただ知恵の満たし、信仰の満たし-神様のことは保って、悪は捨てることができる知恵と靈的な力</li> </ul> </li> </ul> <p>※私たちは力がないので Heavenly、Thronely、Eternally Power を求める こと</p> <p>□結論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保全(23 節)-契約を握って行く私たちを神様が導いて行って保護</li> <li>2. 私たちを呼ばれたキリストが成し遂げられる(24 節)</li> <li>3. 契約を信じて握って祈り 24 に入れば良い。</li> </ul>	<p>△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 契約の隊列の中にいる者(使 1:1-8)</p> <p>□序論_アイデンティティ-患難、困難を越えることができる奥義</p> <p>1. 私(個人)-最も大きい祝福は出会いの祝福</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 神の子ども(ヨハ 1:12) 2) 証人(見た者)</li> <li>3) 伝道者(伝道運動中にある人生)</li> </ul> <p>2. 教会(福音の共同体)-一つのからだ→モデルとして用いられる教会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 完全福音の色 2) 聖書の伝道(マルコの屋上の部屋に起きた伝道運動)</li> <li>3) 宣教→神殿建築を通じて 237 正しく生かそう。</li> </ul> <p>△私の気にくわないと神の子ども、伝道者ではないのか。そうではない。</p> <p>3. 団体(協会、総会) 一首を出した牧師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ただ福音 2) ただ伝道 3) ただ宣教(システム構築)</li> </ul> <p>△皆さんは神の子どもで、この時代の伝道者だ。世界福音化する要員だ。患難、迫害は過ぎ去るようになっている。皆さんは神様の絶対やぐらだ。神様の絶対計画は必ず成就する。そこに用いられる人々が皆さんだ。</p> <p>□本論_契約の隊列の中にいること(恵み、祝福)</p> <p>1. 使 1:1 完全福音-サタン、闇は光だけが勝てるために光であるキリストを送られた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) マタ 16:16 あなたは生ける神の子キリストです</li> <li>2) 創 3:15 3) 出 3:18 4) イザ 7:14 の主人公</li> </ul> <p>*ヨハ 20:31(ヨハ 3:16)-イエス様が神様の御子、キリストだということを信じるようにするために、信じる者に永遠のいのちがあることを知らせるために聖書が記録</p> <p>2. 使 1:3 神の国のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 國統治(サタン撲殺) 2) 神様の國の拡張-伝道、宣教</li> <li>3) 神様の栄光を現すこと(I コリ 10:31)</li> </ul> <p>3. 使 1:8(世界福音化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 聖靈-力-聖靈の力で世界福音化が可能だ。聖靈が臨まれる時まで待ちなさい。</li> <li>2) 力(絶対不可能→絶対可能)-力は天と地のすべての権威を言う。神様の契約を握って絶対不可能に挑戦すれば絶対可能だ。</li> <li>3) 絶対目標→ X の証人-世界福音化は神様の絶対目標であるから、絶対可能だ。この奥義を持っている人がキリストの証人だ。</li> </ul> <p>□結論</p> <p>1. 召し-完全福音で人を生かして、神の国のことを行なうことを完成してサタンを撲殺して、世界福音化を成し遂げるキリストの証人として神様が私たちを召された</p> <p>2. 価値、幸せ→立派-この召しを受けた人生</p> <p>3. 小さな献身→ 237、癒やし、サミットに向けた神殿建築を神様が完成</p> <p>△皆さんは契約の隊列の中にいる者なので、神様のみこころをすべて成し遂げて神様の栄光のために生きる立派な伝道者になるだろう。</p>